

■インド：Prayas、省エネ家電導入による省エネ効果を試算

デリーに拠点を置く大規模な NGO である Prayas エネルギーグループは 2010 年 3 月末、新規に購入される家電製品（テレビ、冷蔵庫、扇風機、エアコン等の 9 種類）がすべて省エネ型になった場合、2013 年時点で年間最大 570 億 kWh の節電が可能との試算結果を公表した。これは CO2 排出量に換算すると、5,000 万トン分に相当するとしている。報告書によれば、2008 年の家庭の家電製品のうち最も消費電力量多いのが、3 全体の 8% を占める扇風機、次いで 30% を占める蛍光灯であった。なお、伸び率が最も大きいのはエアコン（25%）であるとしている。また、報告書では、主要な製品の省エネ効果を詳細に分析している。